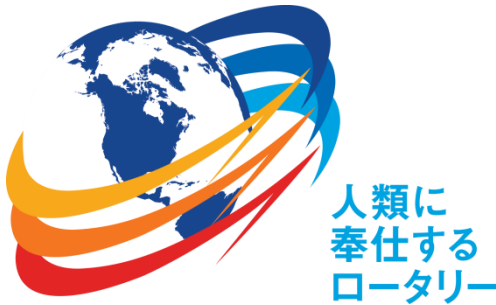


RI第2620地区 静岡第3分区

沼津柿田川ロータリークラブ



RI会長 ジョン F.ジャーム
 RI第2620地区ガバナー 生子 哲男
 会長 大石 昭裕
 幹事 安本 晋
 例会日時 毎週月曜日 12:30点鐘
 例会場 沼津卸商社センター 2F
 〒411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203
 TEL 055-971-6500
 〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方
 TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322
 E-MAIL officework@rcj-nk.org

事務局

会長挨拶

第1622回例会 会長挨拶

会長 大石昭裕

昨日の地区大会に参加された皆さんお疲れ様でした。最終的な参加者は昨年と同様、増田事務員を含め9人でした。

RI会長代理として第2840地区パストガバナーの本田博己氏が臨席され挨拶をいただきましたが、その内容を一部紹介したいと思います。

ジョン F.ジャーム会長は「人類に奉仕するロータリー」という年度テーマをかかげています。そして、このテーマは「ロータリーの活動を私なりに言い表したものであり、私たちは「人類に奉仕するロータリーの伝統を継承する名誉を授けられている」と。また地区大会に寄せたメッセージの中で、「今ロータリーは、いわば転換期となる歴史的に重要な局面に立っている」という認識を表明されています。日本のロータリーも4年後の2020年には100周年を迎えます。私たちも、ロータリーの歴史的な転換期をどのように受け止め、「人類に奉仕するロータリー」の伝統をどのように継承してゆくか、そして日本のロータリーの希望あふれるビジョン(将来像)をどのように描いてゆくか、ロータリアンの英知を結集すべき時ではないでしょうか。ジャーム会長が仰るとおり「地区大会は、お互いに親睦を深め、意欲を高めるだけではなく、アイデアを広げ、計画を立て、ロータリーの未来に向けた準備をする貴重な機会」です。

一部ご紹介させていただきましたが、当クラブにおいても将来のビジョンを描くことは不可欠であります。5年後、10年後を見据えてと言われますが当クラブの数年後はどうなるのでしょうか？単なる仲良しクラブではなくロータリーの理念と歴史を継承するクラブとして今後どうしていくべきか、どうあるべきか真剣に討議していかなければならない時期なのではないかと、改めて大会に参加し思った次第です。

幹事報告

■ 事務連絡 ■

- * 前島静岡第三分区ガバナー補佐より
IMのご案内 到着
- * ガバナー事務所より
2017年国際ロータリー年次大会(アトランタ)のご案内 到着
- * 米山記念奨学会より
ハイライトよねやま200号 到着

■ 例会変更 ■

- * 沼津西ロータリークラブ
12月22日(木)→Xmas夜間例会
12月29日(木)→裁量休会
- * 富士ロータリークラブ
12月21日(水)→家族夜間例会
12月28日(水)→年末休会
1月4日(水)→新年休会
1月11日(水)→家族夜間例会
- * 富士宮ロータリークラブ
11月28日(月)→夜間例会
12月5日(月)→3日(土) 忘年家族夜間例会
- * 沼津北ロータリークラブ
12月13日(火)→忘年家族夜間例会
12月27日(火)→裁量特別休会

■ 週報到着 ■

沼津西RC

委員会報告

ロータリー財団委員会

代理 大石昭裕

地区大会にてロータリー財団から表彰バナーを授与しました。これは「100%ロータリー財団寄付クラブバナー」で、2016年6月30日現在(年度途中の入退会者は除く)の正会員全員が、寄付分類に関わらずロータリー財団へ寄付をし、一人当たりの平均寄付額が少なくとも100ドルに達しているクラブに贈られます。

本日のゲスト・ビジター

ビジター 沼津西RC 神尾栄一 様
 ゲストはありませんでした。

スマイル報告

古泉榮一 ロータリー財団へ。

地区大会報告

太田昭二

まず目についたのは出席人数が少なかったことです。登録人数1300人で、約4割でグランシップは会場が大きいのでちょっと残念で淋しく感じました。

本会議はいつもどおりの進行でしたが、私が一番心に残ったのは、2840地区群馬の前橋ロータリークラブから来ました本田博己RI会長代理の話でした。

ジョンFジャム会長は「人類に奉仕するロータリー」というテーマで私たちは「人類に奉仕するロータリー」の伝統を継承する名誉を授けられていると言っています。本年度はロータリー財団100周年。4年後の2020年には日本のロータリー100周年を迎えます。今ロータリーは歴史的に重要な転換期に立っているが、心配することはない。そのためには希望溢れるビジョンを描いて、ロータリアンの英知を結集すべき時です。「地区大会は互いに親睦を深め、意欲を高めるだけでなく、アイデアを広げ、計画を立て、ロータリーの未来に向けた準備をするための貴重な機会です」と挨拶されました。

また、今回は分区分屋台村を回る事ができ、それぞれのご当地グルメをいただきました。これが最大の達成感を得られました。

菊地勝男

久しぶりに地区大会に参加して二つほど、印象に残ったことがあります。

一つは、RI会長代理のスピーチの中で、頻りと、今の日本のロータリーを改革しなければ、世界から孤立すると言われておりました。何をどう改革するのか、難聴気味も手伝って、お話の全体像が理解出来ませんでした。いずれにしても、私が期待するロータリーは、職業奉仕を柱とする、発足当初のポールハリスの精神です。これに共感して入会したつもりでしたが、時代と共に変わっていくのでしょうか。

もう一つは、喉が渇いたので友愛の広場を探して辿り着いたら、飲み物や、お菓子を置いてあるテーブルに赤いタスキを掛けた交換留学生や、米山奨学生とみられる若者が、群がってバリバリとお菓子を食ったり、ジュース飲んだりしながら談笑していて、その場を占拠しておりました。なんとマナーの悪さ、教育の悪さ、こんな連中に寄付をしていると思ったら何だか複雑な気持ちになりました。やむなくその場を引き揚げ、自動販売機で飲み物を買いました。

川口尚史

RI会長代理入場、ガバナー挨拶、来賓紹介、表彰等例年通りのスケジュールで進んでいきました。講演ではミュージカル落語を聞き、昨年度地区大会の屋台では行ったら売り切れが続出でしたが、今年度は早く会場へ行ったので各地区の有名な商品を食べることができました。

安本 晋

今回、初めて第1日目の地区大会にも参加してもいりました。第1日目については、御挨拶やご紹介等の後に、各地区から選ばれたクラブの活動紹介を見る機会がありました。

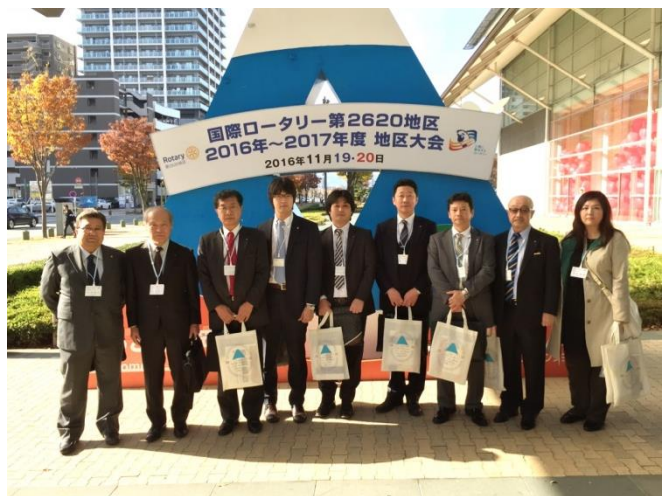
静岡第2分区からは長泉RCのなでしこサッカー大会、米山梅吉記念館の運営、寄付等。

静岡第3分区からは富士宮RCの学童野球大会、エコボールプロジェクト、沼津西RCからはベトナムの枯葉剤被害に対する支援、といったものが紹介されておりました。

また、ローターアクト、青少年交換学友、米山学友といったロータリーが支援する若者からも直に体験や考えを聞く機会を持つことができ、益々ロータリー活動の有益さを再認識できる地区大会となりました。

徳山明広

地区大会に参加して、改めて寄付したお金が米山奨学生のために生きたお金として活用されていることが認識できる場となりました。奨学生一人一人が挨拶する中で感謝の言葉を述べていたことが印象に残ると共に、将来、奨学生らがいろんな立場で活躍され、国を越えて交流すること、そしてお互いの国を理解できることは人類にとって非常に大事なことだと思いました。また、地域社会に貢献する、「人類に奉仕する」といったロータリーの精神を、お金の寄付だけでなく、行動することによっても、ロータリアンとして自分に何ができるのかを考える意義ある機会にもなりました。



◆次回例会プログラム◆ グラウンドゴルフ大会

出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席数	出席率	前々回10月31日修正出席率
19名	18名	12名	66.67%	77.78%

出席：古泉・太田・野口・菊地・前田 他 計12名

欠席：梅田・伊藤・中田・小川・荒川・石川 計6名

MU: 計0名